

## 第2章『事業承継計画をつくってみる一文字にすれば夢は叶うー』

大阪府事業承継・引継ぎ支援センター  
統括責任者 兼田 亜貴



会社を次世代の後継者にバトンタッチする…決断と準備が必要な事業承継への道のりは時間がかかります。重要だけど、つい先送りにしてしまう、そんな悩みを吐露される経営者の多いこと。

そんな皆様にお勧めしたいのが「事業承継計画」の作成です。事業承継計画とは、経営計画に事業承継すべき施策を盛り込んだもの。経営者と後継者の年齢を横軸に取って、記載するのは「役職」「後継者の教育」「株式・財産の分配」「関係者の理解」など。まず最初に決めるのは承継の時期です。今後の人生をどうしたいか？社長とその家族のライフプランに基づいて、目指す引継ぎ時期の設定をします。逆算して、「後継者の教育や配置転換」「役員就任の時期」「株の譲渡時期」「取引先への紹介」などを決めていきます。従業員さんを後継者にするなら、他の従業員に納得してもらうための段階的な作戦も必要かも。これは、現経営者の腕の見せ所です。

さて、ここからが不思議な話。願い事や夢は、紙に書いたり文字に起こすと実現するのです。嘘のような本当の話ですが、ある製造業の社長と一緒に事業承継計画をつくった時の事です。経営計画もしっかり考えた5年計画でしたが、後に確認すると、達成すべき施策の8割がわずか1年で達成できていました。

計画を立てる時間が取れないと嘆くご多忙な皆様、労力をかけずに、まずは一步踏み出すという意味で、手帳に書き留めるところから始めませんか？「経営改善を図って7年後に長男に承継する」「5年後に会長に就任し、やりたかった別の事業を始める」などなど。私も実践していますが、効果てきめんです。誰にも言わなければ、引き返しも自由です。夢を書くことを気軽に始めましょう！

